

歴史・文化・芸術の集う地域の拠点を目指して

一宮町中央公民館



公民館2階歴史資料展示



公民館1階ロビーの展示ス

公民館の沿革・年表

- ・昭和38年 文部省委嘱成人学校中に「一宮町成人学校」の記載
- ・昭和48年 一宮町中央公民館開館
- ・昭和49年 同館にて第26回千葉県公民館研究大会開催
- ・平成26年 教育委員会事務局が同館より移転
- ・令和3年 同館2階ロビーに「歴史資料展示室」開室
歴史講座「崇文館歴史講座」開講

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 歴史資料展示室の様子
令和3年9月開催の企画展の様子。戦前の漫画家・北沢楽天を特集。展示室では約3ヶ月ごとに資料保存や来館者を飽きさせないために展示替えをし、年4回の企画展を開催。
- 公民館1階ロビーの展示
コロナ禍で文化祭が中止となり、発表の場が限られたことをうけ、令和3年10月より、1階ロビーで展示を実施。学校や文化協会と連携し、子どもたちの作品を入れ替わりで展示した。

1. 都道府県名	千葉県	3. 公民館対象人口	12317人	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
2. 市区町村名	一宮町	4. 建物設置年月日	昭和48年3月31日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 216人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 11276人 （まちの図書室利用者数）	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 13060人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 300人	合計 24,852人		
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 6人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人） 合計 9人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（社会教育委員会議）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（歴史・文化の普及啓発）				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（まちの図書室、歴史資料展示室といった図書館・博物館的機能も内包）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 （一宮小学校、一宮町文化協会、一宮町社会福祉協議会、総務課、子育て支援課、明治安田生命）				

一宮町中央公民館

OPEN 日・月・祝：8:30～17:00、火～土：8:30～21:00 H P <https://www.town.ichinomiya.chiba.jp/info/shisetsu/kouminkan.html>
 TEL 0475-42-4576 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 一宮町には公民館を含めて5か所の社会教育施設があるが、博物館・図書館・文化ホール・生涯学習センターのような施設なく、「社会教育」の発信拠点としては公民館にその役目が期待されている。
- 上記の町に「ない」施設がほしい、という住民ニーズもあるが、既存の公民館を「上手く」「効率よく」運営し、博物館・図書館も有する場所とすること。これが今の町の公民館に求められている姿であると感じ、環境整備や事業実施に取り組んでき

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【歴史・郷土史を学ぶ事業の展開】

町には博物館のような施設がないが、町名の由来でもある上総国一之宮・玉前神社が鎮座し、歴史と伝統ある地域である。そのため、展示施設や学習機会を求めるニーズも多く、近年は講座を中心に普及啓発事業を進めてきた。平成30年度には郷土の偉人である加納久直公の没後100年記念の5回にわたる連続講座を開催。延べ参加者219名に及び、翌年に開催したシンポジウムでは68名の方に参加をいただいた。令和3年度からは幕末に一宮にあった藩校の名前を冠した「崇文館歴史講座」を開講、年7回、延べ70名の参加があった。講座は参加者の希望に沿ったテーマで各回一宮の歴史を網羅的に細かく見ていった。この講座はこれまでの「教える」という一方の講座の側面だけでなく、「人材育成」や歴史を通して町のこれからを考える「まちづくり」といった側面も持ち合わせた講座としていく予定である。また、平成28年度からは展示ケース2台を用いて図書室内やロビーで不定期にミニ企画展を実施、小さいながらも実物の町の歴史資料に触れる機会を創出した。この取り組みを続けた結果、令和3年からは常設の「歴史資料展示室」を開室、「飽きさせない」「リピーターを増やす」工夫として約3ヶ月ごとに展示替えを行っている。

【学校・他団体との連携によるロビー展示】

コロナ禍でイベントの多くが中止となり、発表の場が限られたことを受け、町内の小学校の子どもたちの作品を公民館1階ロビーで展示。学校や文化協会、社会福祉協議会と連携しながら、それぞれが行っている作品展などの事業の展示会場として公民館を提供した。



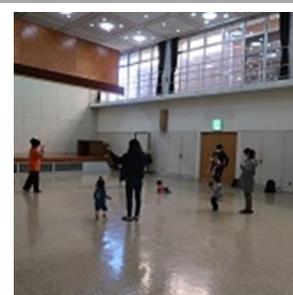
文化財講座の開催(2020)



文化協会主催の児童作品展

3. 取組による成果や効果

- ・歴史資料展示室の開室により、これまで公民館に来たことがない方が来館するようになった
- ・町の歴史の普及啓発事業を継続的に行ったことにより、町民の方々の町の歴史への認識興味関心が増加。令和4年度から昭和39年(1964)に刊行された『一宮町史』の再編さん事業を開始する大きな原動力となった。
- ・学校や他団体と連携したロビー展示の開催により、子どもやその保護者が展示を見学するために来館。その方々が図書室に立ち寄るケースも散見。
- ・これまで公民館を利用したことがない人を徐々に呼び込むことが出来ている。



公民館教室「リトミック教室」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

講座ごとにアンケートを実施。次年度行う講座等に聞いてみたいテーマや意見を反映するよう努めている。事業については教育委員会議や社会教育委員会議、文化財審議委員会議に随時状況を報告、会議内での意見も事業に取り入れている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

各種の公民館教室や館の環境整備を通して、「使いやすい」「明るい」生涯学習の場としての公民館にすることを目指している。利用者のニーズに応じて事業を考え、コロナ禍であっても安全に学び、活動できる環境の整備を心掛けている。これからの「withコロナ」の社会に向けて、人々の「つどい」の場として、地域の歴史・文化・芸術の活動の拠点でありたい。



コロナ前の講座の様子。人々の「つどい」の場

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

「人材育成」「まちづくり」という視点を新たに加えることで、官民協働での新たな事業を考えていけるようにしたい。「歴史と文化ある町」を享受できる町、その発信拠点としての公民館を目指していきたい。また、これまで希薄だった学校との連携も徐々に進み始めている。様々な世代の人々が集い、参加できる事業を検討、展開していきたい。



公民館全体像